

早いもので、令和4年度も残り一日となりました。第3学期が始まるとともに、卒園式に向けて歩き出している子どもたちの姿を見て、頼もしいと感じる反面、さみしさを感じながら過ごしてきました。そして、いよいよ明日は、卒園式です。2年間積み上げてきたものを出し切って、一番輝ける日になってほしいと願っています。でも、これまでにない緊張感も味わうこととなると思いますので、心からの応援、よろしくお願いいたします。保護者の皆様には、園教育へのご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

こんな子どもに！＝めざす子ども像  
＝教育目標

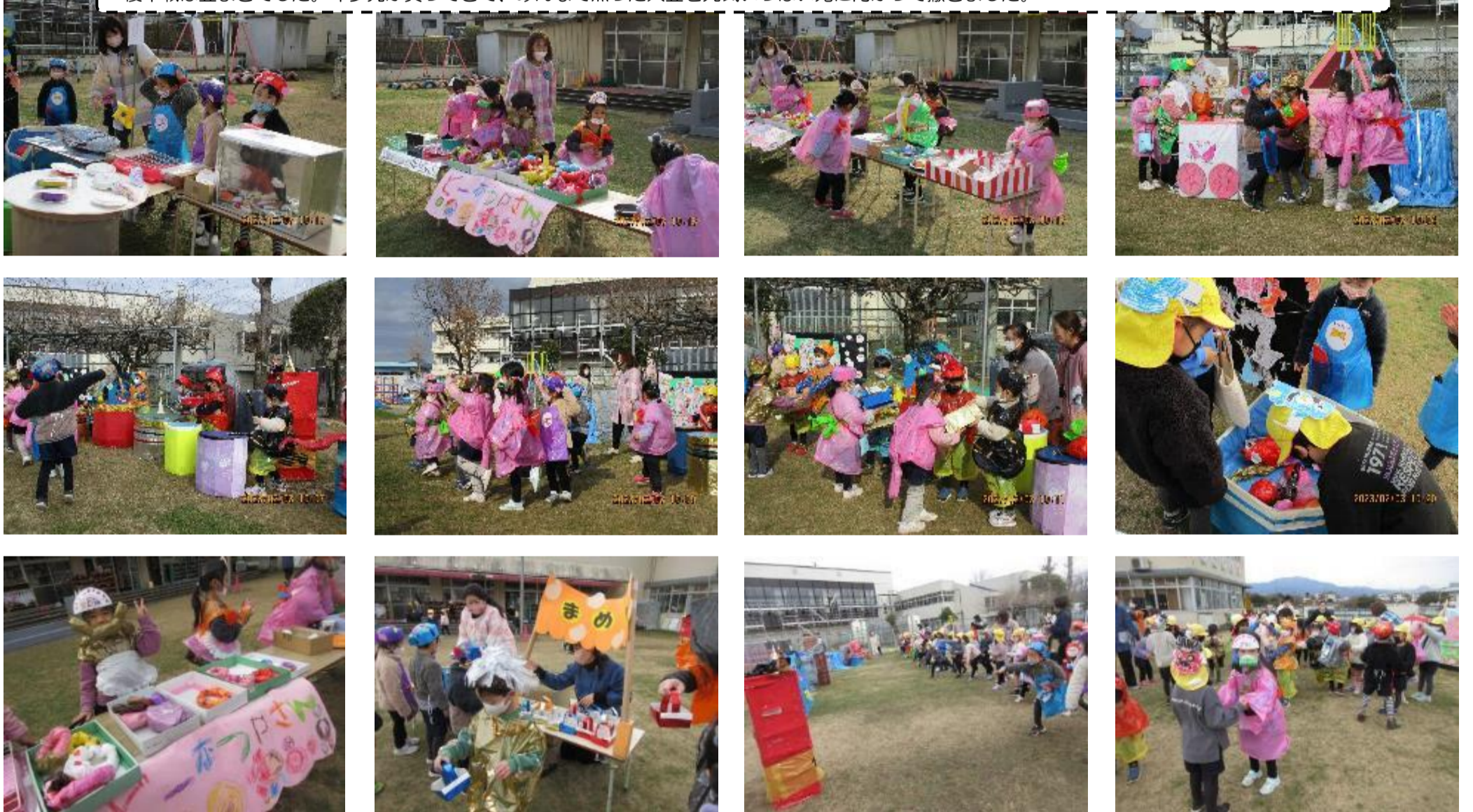
やさしい心をもって、周りの人や身近な動植物に関わる子  
はきはきと自分の考えや思いを表現する子  
ぎもんや興味関心をもち、挑戦する子

『めざす子ども像＝教育目標』を達成するために、★重点目標★を目指し、\*具体的な取り組み\*を実践してきました。第3学期を振り返り、令和5年度につなげていきたいと考えています。

- ★遊びや活動に主体的に取り組む★
- ★遊びの中で試行錯誤する★
- ★身近な動植物との関わりの中で、命の大切さを知る★
- \*『全体的な計画』を活用した保育の実践\*
- \*全職員で見取りを共有し、環境と援助を探る\*

令和4年度の集大成ともいえる第3学期でした。これまで以上に自分のやりたい遊びをそれぞれが主張し、そこには必ず友達の姿があり、友達と楽しく遊ぶための試行錯誤がありました。年少児は、もうすぐ卒園する年長さんに向けて、年長児と一緒に遊んで楽しかった年少さんや家の人・先生たちに向けて、感謝の気持ちを表す活動も行われました。

年少児主催の『やはぎっ子げんきっ会』では、自分たちが考えた『桃姫』の上演から始まりました。その後のお店屋さんごっこは、大賑わいでした。後半戦は豆まきでした。年少児が買ってきて、みんなで煎った大豆を元気いっぱい鬼に向かって撒きました。



年長児主催の『やはぎっ子げんきっ会』は、『年少さんと鬼ごっこをしたい』という願いと、『年少さんに楽しんでほしい』という願いが合体し、「大鬼ごっこ大会」を行いました。鬼にタッチされたら、サッカーコートの牢屋に入りますが、「解放！」と言われバーが上がれば逃げられるというルールで行いました。真剣に捕まえる鬼のモチベーションを保ちつつ、捕まえられた子も飽きない時間を考慮しながら進めたので、最後まで鬼ごっこを楽しむことができました。その後は、年長児がリードし、弁当と一緒に食べるペアを決めました。強風のため、園庭で食べるのはあきらめ、1階ならどこでもいいよということに。りす組・しか組・廊下・図書コーナー・職員室と、それぞれ選び、当番の号令で食べました。







野菜や花の栽培活動。毎日の水やりや草むしり。「花芽はあるかな?」と、観察も欠かせません。



飼っていた魚が死んでしまいました。



生き物の死から命の大切さを学びます。

冬場は虫を見掛けることもなく、子どもたちも氷づくりなど、季節に応じて自然物との関わりを深めていました。年長児が水の中に花びらを入れて氷をつくっているのを見て、年少児も早速、真似をして作り始めました。



でも、ちょっと暖かい日が続いたある日。年少児が、「虫、いないかな?」と、虫捕り網・虫かごを持って、園庭の散策が始まりました。裏庭にも足を伸ばし、枯れた草むらの中をガザゴソと探り、幼稚園にはまだ虫がいないため、園外に! いろいろなところを探しましたが、発見したのは、テントウムシ1匹。春はもう少し...



この他にもたくさんさんの遊びを楽しみました!!

りす組



さくら組





★地域のひととの関わりを大切にする★  
 ★家の人やボランティアとの関わりを深め、感謝の気持ちをもつ★  
 ★あいさつを進んでする★  
 ＊『やはぎはあと』の実践＊  
 ＊つながりや感謝の気持ちを感じられるように、  
 人との関わりを目で見えるようにする＊  
 ＊あいさつ当番の再開＊

コロナ禍ではありましたが、少しずつ、地域の人や家の人との関わりをもつことができました。いろいろな人との関わりは、人・もの・こと等、子どもの世界を広げ、大きな学びとなりました。  
 第3学期からのあいさつ当番の活躍で、気持ちの良いあいさつが聞かれました。改めてあいさつの大切さを実感しました。

入学を前に、年長児は、交通安全のルールを再確認しました。くらし安全課の指導員さんが教えてくれました。



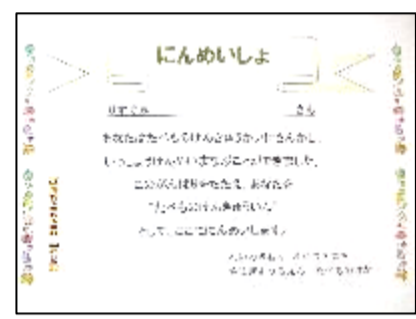
劇団員が減少という課題を抱えながらも、ひまわり劇団のお母さんたちが上演してくれました。卒園児のお母さんたちも応援に駆けつけてくれ、さらに盛り上がりが見られました。キラキラに輝いたお母さんたちからたくさんのパワーをもらいました。



年長さんに披露した劇『桃姫』を家の人にも見て欲しい…と。雨にも関わらず、年少の保護者の皆さんが見守り、盛り上がりました。



年長児のために来てくれた「たべもの博士」から、食べ物に関する話をたくさん教えてもらいました。最終回では、学校給食の話も聞くことができ、下府中小学校の栄養士さんからの手紙も紹介してもらいました。がんばって勉強した子どもたちには、『任命書』が渡されました。



3年ぶりの『なかざと文庫』さんの読み聞かせが行われました。子どもたちから見るとおばあちゃんのような存在の方の読み聞かせは、わらべ歌も交じり、語り口調もほんわかとしたあったかいものでした。



第3学期も楽しい読み聞かせをしてくれて、ありがとうございました。絵本屋さんが見せてくれた絵本は、子どもたちの心の栄養になっています。これからも、よろしくお願いします。



幼稚園を代表して、年少児が節分用の大豆を買いに行ってくれました。商品を探すことから、お金を支払うところまで、しっかりとやってくれました。お店の方々、温かく受け入れてくださり、かつ、貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。



第3学期は、両学年正門からの登園となり、年長のあいさつ当番が復活しました。最初は、小さな声だった子どもも大きな声になり、心いっしょにやっていた姿勢も背筋を伸ばし、しっかり立てるようになり、お辞儀の仕方もきれいになり、何よりも、自信をもってあいさつをする姿が見られるようになりました。どんなことがあってもあいさつを気持ちよくすることは、家族の中でも大切なことです。大人が見本となり、繰り返し、根気よく、続けていきましょう。



毎朝、キラピカさんのお母さんたちが、花への水やりや草むしり等してくれたお陰で、色水遊びや氷中花づくり等を楽しむことができました。ありがとうございました。



卒対さんのお陰で、年長の親子お別れ会では、生まれてから今日までを振り返る素敵な映像の上演が行われました。ありがとうございました。たった6年しか生きていないけれど、たくさんの愛情を注いでもらった6年であることが感じられました。これから先は、もっとたくさんの人から、もっとたくさんの愛情を注がれ成長していくのです。





★言葉を使って伝え合う★

★“気持ち”を言葉で表現する★

- \*話を聞いたり、したりする場の環境を整える\*
- \*いろいろな言葉に触れる機会を大切にする\*
- \*絵本の読み聞かせや図書貸出により、絵本への興味を広げる\*

第3学期は、一年を振り返る機会が多くありました。いろいろな気持ちが言葉で表現される中、もう一步踏み込んで、形に表すことを働き掛けてみました。気持ちを言葉にし、その言葉をどうやって届けるか…と問い掛けると、手紙・プレゼント等、形となりました。

クラスでの遊びの振り返りはこれまでもしてきましたが、初めて、年少・年長と一緒に遊びの振り返りを行いました。遊びの中で感じていることや考えていること等話上がり、年少の思いや年長の思い等、互いの思いに気付いたり、遊び方やルール共有にもつながりました。子どもたちもより楽しく遊んだり、生活したりするためにも言葉は大切であることをより深く感じたようです。



年長児主催の『やはぎっ子げんきっ会』の後半では、年長児から『ありがとう』の気持ちを言葉や形にしたプレゼントがありました。この日のために、年長児は自分たちがつくった絵本『にっこにこマンション100』をプレゼントしようと決め、準備を進めてきました。全員で買い物に出掛け、ラッピングに必要なものを、自分たちで選んで、買ってきました。



『にっこにこマンション100』の印刷は、田中(み)先生にお願いをしました。組み合わせを考えながらの印刷は大変でした！そして、印刷してもらったものを1枚ずつ取って組み合わせ、穴を開けて、リングに通し完成させました。



年長から年少へ『にっこにこマンション100』のプレゼント。自分のかいた絵が載っている絵本に大喜びの年少さんでした。



この後、先生たちにも『にっこにこマンション100』のプレゼントがありました。年長さんの心のこもったプレゼントに、先生たちも大喜びでした。3月1日の年長親子お別れ会では、家の人に『にっこにこマンション100』をプレゼントしました。サプライズということで、みんな内緒にしておいたようです。保護者の方も大喜びでした。



2月22日(水)に「幼稚園関係者委員会」を開催しました。そして、関係者委員の方に卒園式ごっこに参加していただきました。初めて参加する年少児が着席し、卒園児である年長児が入場すると、拍手で迎えてくださいました。『お別れのことはと歌』の披露でしたが、ちょっと緊張しながらも真剣に取り組む年長児の姿に、大きくうなづきながら、聞き入っていただきました。終了後に、年長児から「2年間見守っていただいた感謝の気持ち」を「言葉とメダル・手紙」という形にして、プレゼントをさせていただきました。関係者委員全員の方が、とても喜んでくださいました。相手の存在を知り、『ありがとう』の気持ちをもてる子どもたちであること。そして、さらに『形』にして表すことができる子どもたちを嬉しく感じました。『形』ではなく『気持ち』だけど、関係者委員の皆様や家の人たち、先生たち、年少児の喜びの顔を見ると、やっぱり『形』にすることは大事なことだな感じました。

★基本的な生活習慣を身に付ける★

- \*自分のことを自分のこととして受け止められるようにし、最後まで自分でできるよう見守る\*
- \*家庭との連携を図る\*
- \*子育てアンケートの実施\*

一年が終わろうとしています。特に、基本的な生活習慣は、毎日の積み重ねの大切さを実感します。「自分のことが自分でできる」ことは、大きな自信となります。「年長組」「小学校」と、環境は変わりますが、これからは自分でやろうとする意欲を大切にしていきたいと思います。







浄化槽の人工芝もリニューアルしました。高さ調整のために出てきた土を築山にのせる作業を子どもたちも手伝ってくれました。



令和元年度卒園児がつくってくれた花壇をリニューアルしました。ソフトレンガが一段とハートをかわいくみせてくれています。



サッカーコートのバーもリニューアルしました。ネットを編むのが、一苦労でしたが、完成の喜びが勝りました。